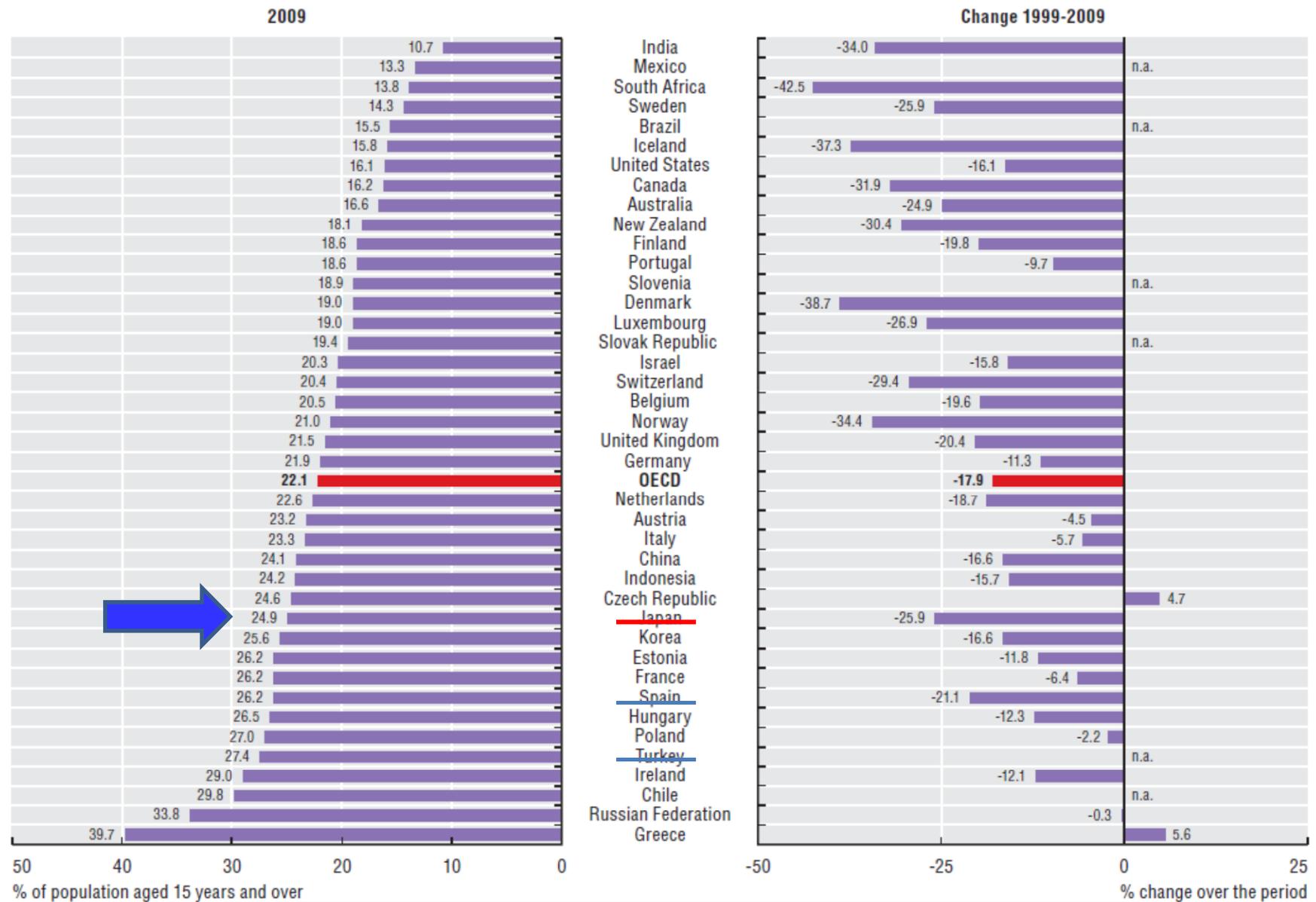


職場における禁煙支援への 取り組みの実態とその禁煙 達成効果

石川産業保健推進センター

城戸 照彦、小山 善子、森河 裕子
田畑 正司、表 志津子

2.1.1 Adult population smoking daily, 2009 and change in smoking rates, 1999-2009 (or nearest year)



Source: OECD Health Data 2011; national sources for non-OECD countries.

[Health at a glance 2011, OECD indicators](#)

<http://www.oecd.org/els/health-systems/49105858.pdf>

StatLink <http://dx.doi.org/10.1787/888932523880>

研究の目的

1. 企業への調査

- 1) 禁煙支援の実施状況とその内容について、
企業規模別・業種別に比較する
- 2) 禁煙支援の実施に関連する要因を検討する

2. 従業員への調査

禁煙達成状況と禁煙支援内容との関連を検討する

調査対象と方法



従業員50人以上の
全企業(1,000社)への質問紙調査

237社
(回収率
23.7%)

事業主の質問紙・説明文書
従業員への質問紙調査
協力依頼書

12社の全従業員(1,829人)
への質問紙調査※

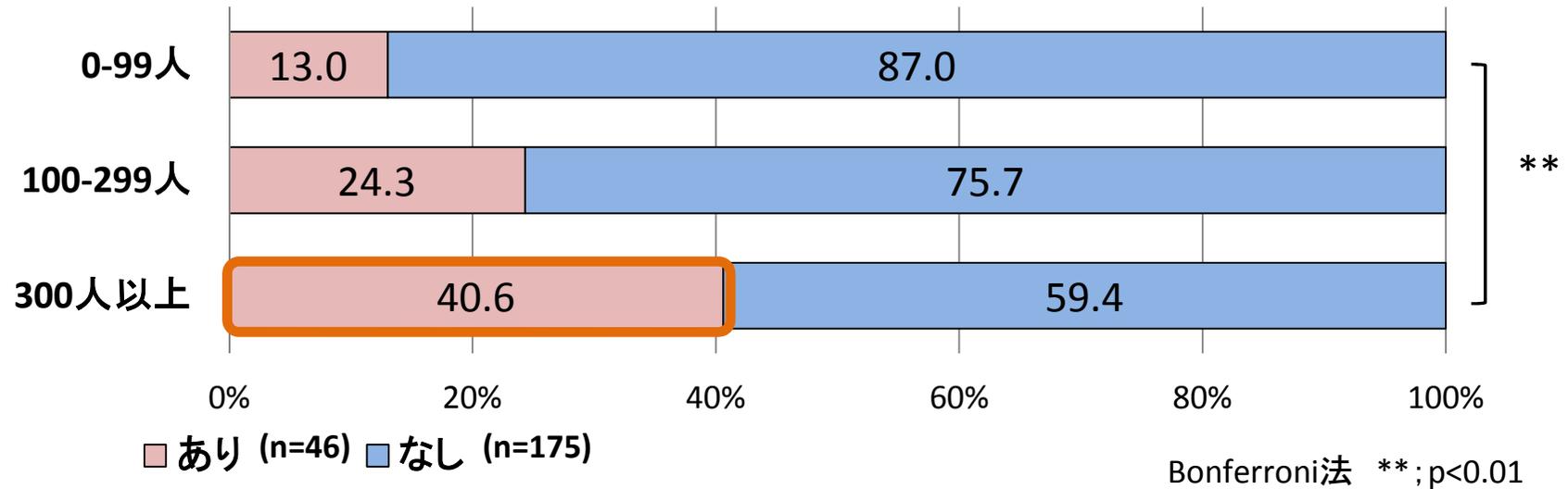
12社: 1514人
/1829人
(回収率82.8%)

郵送による、
無記名自記式質問紙調査

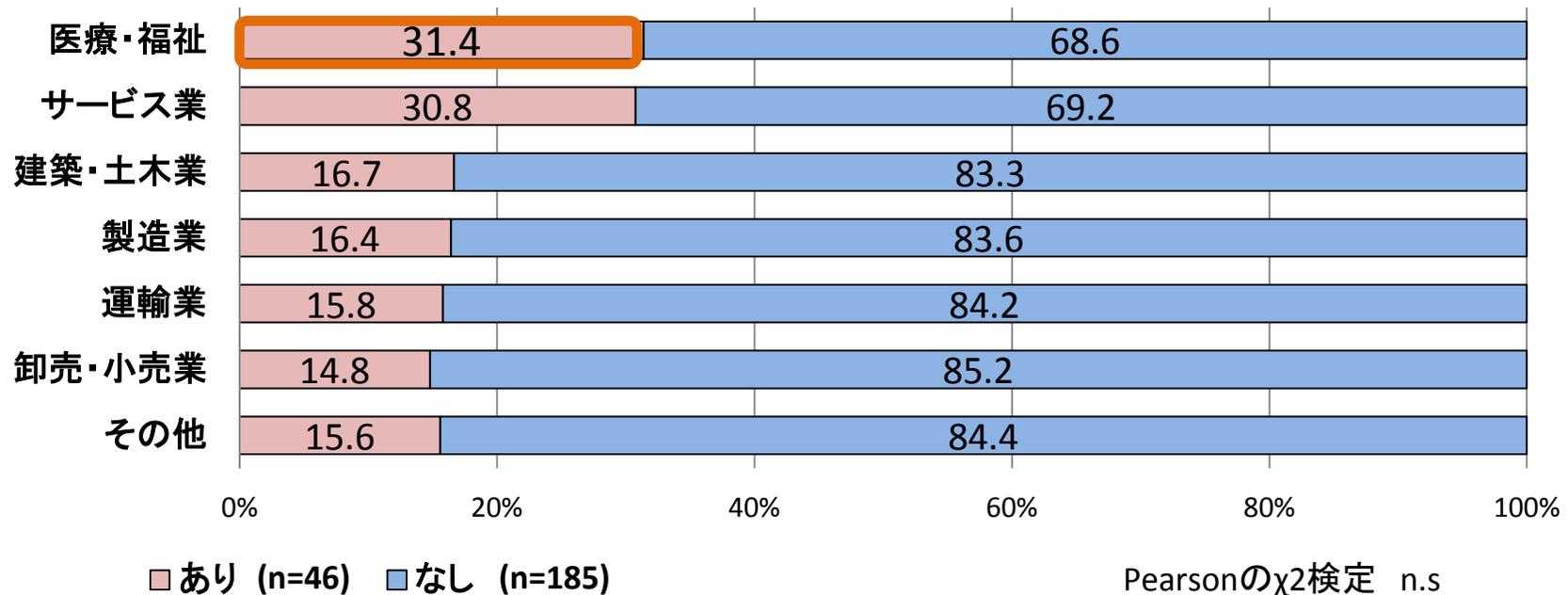
従業員の質問紙・説明文書

※237社の中で同意の得られた企業(95社)のうち、
禁煙支援を実施している企業12社(1,829人)を
対象とした

企業規模別の禁煙支援の有無の比較 n=221



業種別禁煙支援の有無 n=231



禁煙支援実施の関連要因 (n=214)

	オッズ比	95%信頼区間		p
		下側	上側	
従業員				
100人以上	1.56	1.06	2.35	*
0-99人	1.00	reference		
常勤保健師・看護師				
あり	2.51	1.03	5.97	*
なし	1.00	reference		
喫煙対策担当部署の指定の有無				
指定している	1.64	1.12	2.40	*
計画中・指定していない・指定する予定はない	1.00	reference		
安全衛生委員会における喫煙対策の議題の有無				
あり	2.18	1.01	4.83	*
なし	1.00	reference		
禁煙支援の推進に必要な物-社員の声				
はい	0.54	0.25	1.15	n.s
いいえ	1.00	reference		

ロジスティック回帰分析(ステップワイズ法) *;P<0.05 , n.s ;not significant

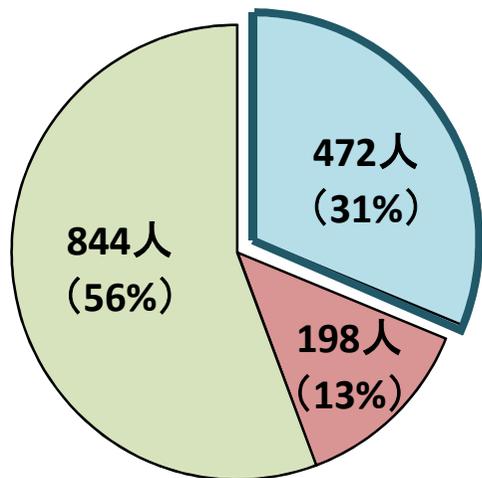
従業員の問題紙調査を実施した12企業と従業員の属性

問題紙の回答を得た12社の従業員1514名の内訳

製造業(3社)	460名	行政事務(1社)	48名
医療・福祉(2社)	243名	卸売・小売業(1社)	117名
運輸業(2社)	418名	建築・土木業(1社)	116名
サービス業(2社)	112名		

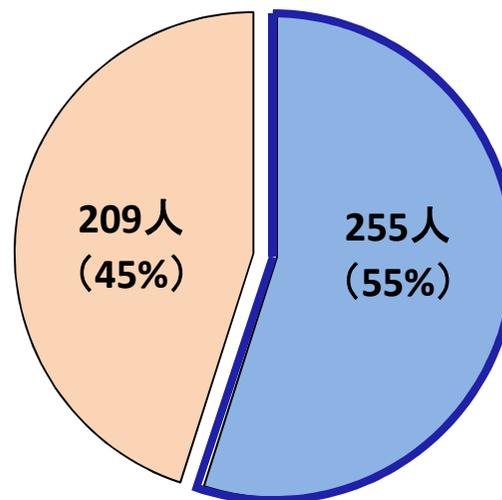
属性	人(%)
性別	n=1508
	男性 940 (62.3)
	女性 568 (37.7)
年齢	n=1512
	20代 289 (19.1)
	30代 363 (24.0)
	40代 330 (21.8)
	50代 416 (27.5)
	60代以上 114 (7.6)

喫煙状況 n=1514



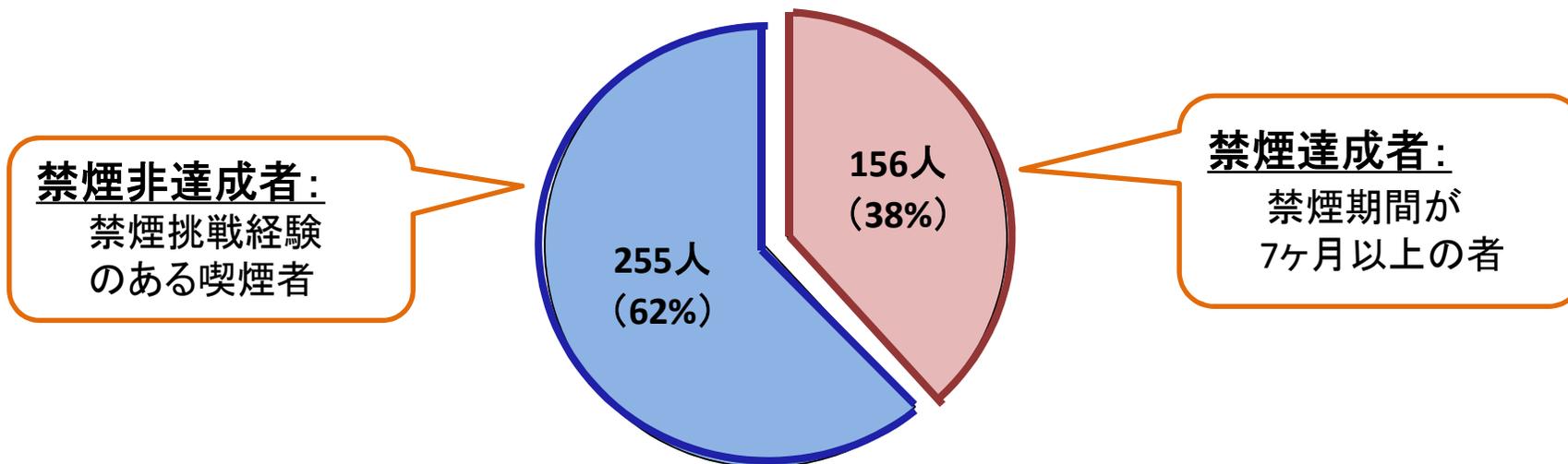
□ 喫煙者 □ 禁煙者 □ 非喫煙者

喫煙者における禁煙の試みの有無 n=464



■ 禁煙挑戦者 ■ 未挑戦者

禁煙達成者と非達成者 n=411

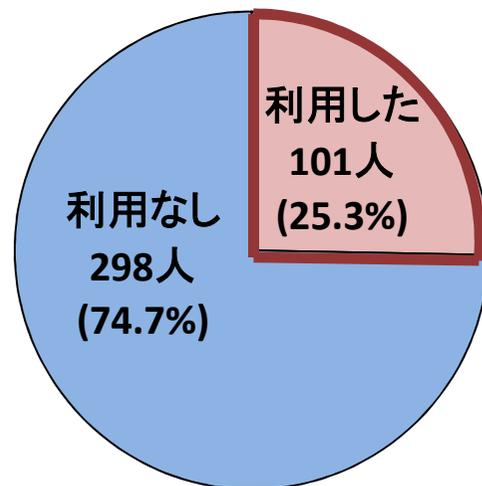


禁煙非達成者:
禁煙挑戦経験のある喫煙者

禁煙達成者:
禁煙期間が7ヶ月以上の者

■ 禁煙達成者 ■ 非達成者

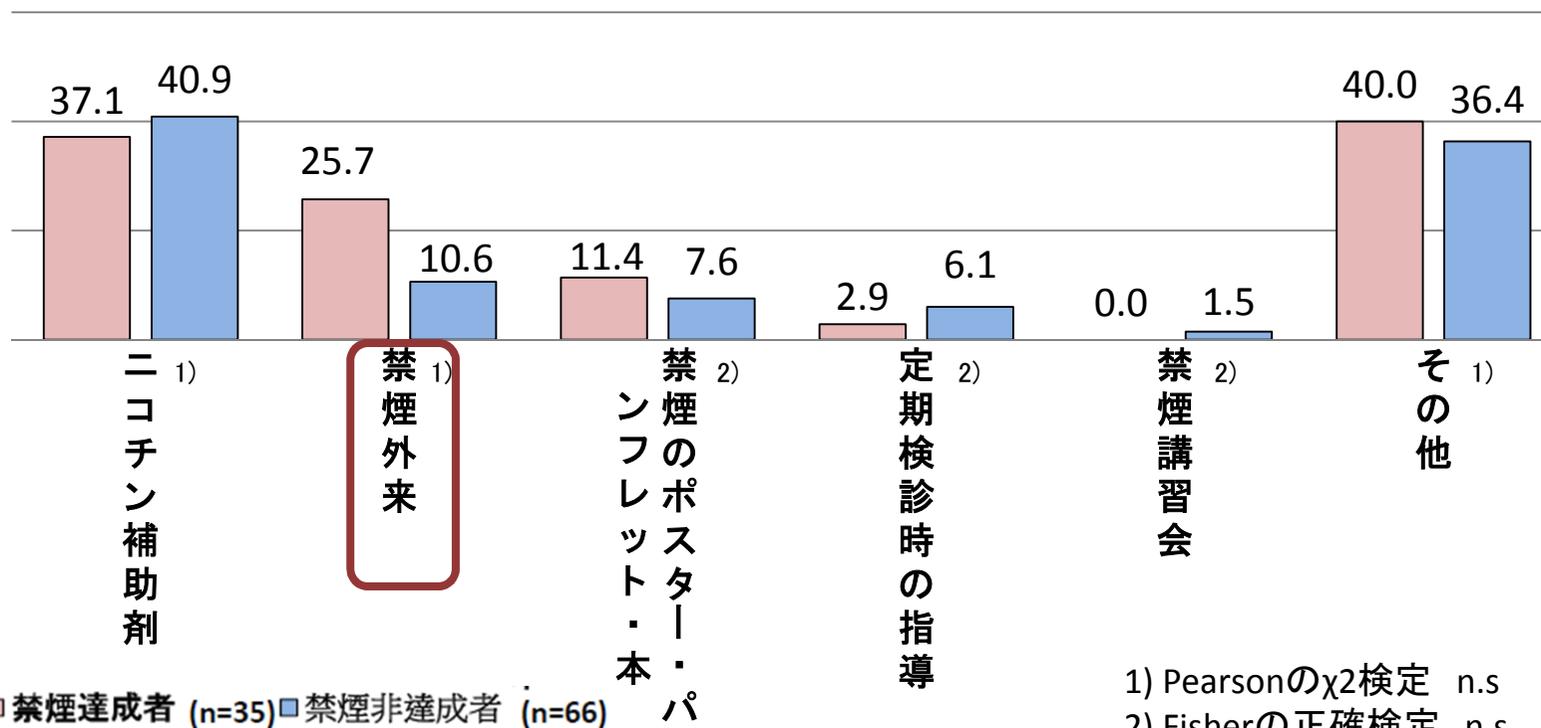
禁煙達成者と非達成者の禁煙支援の利用の有無 n=399



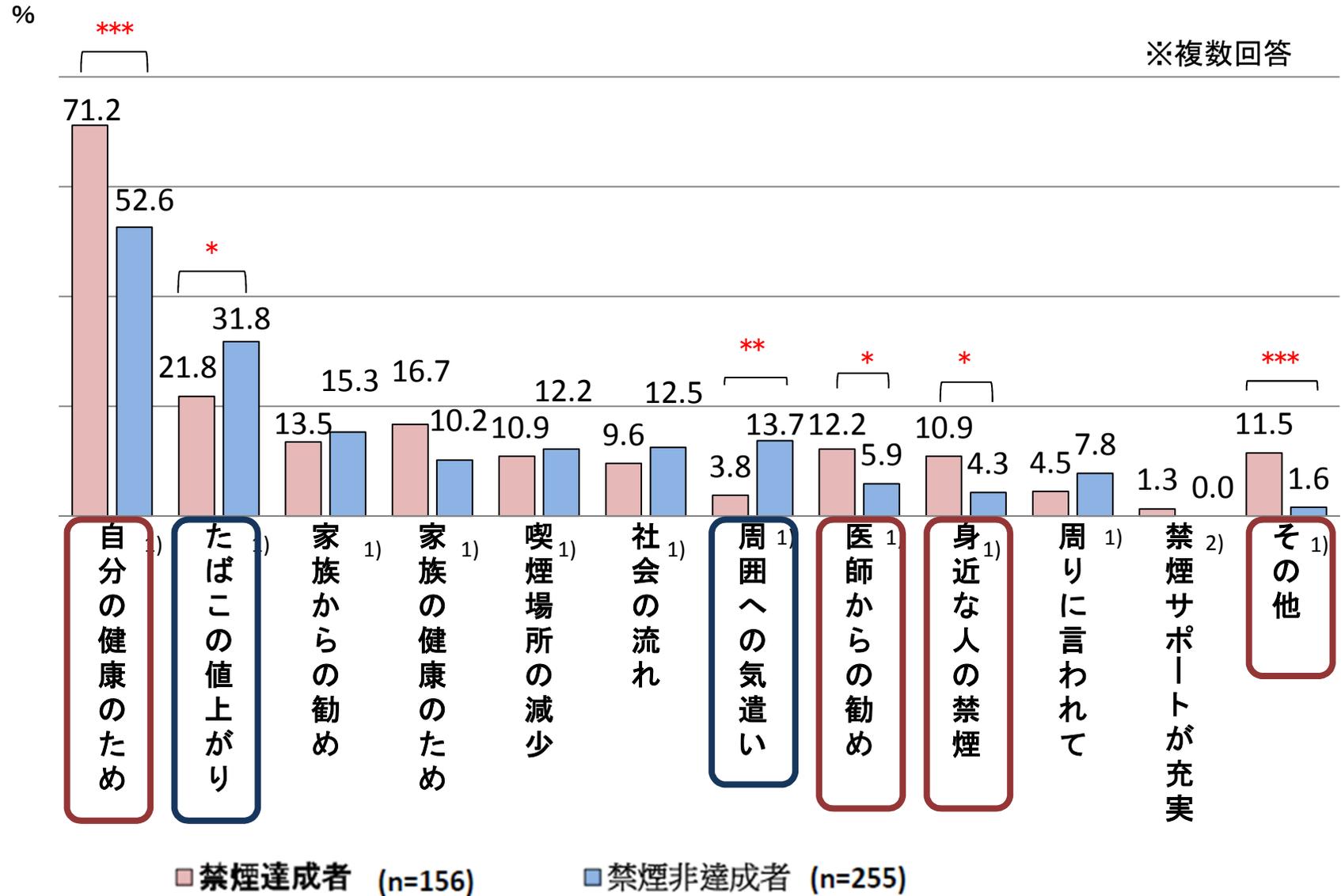
%

禁煙達成状況別の禁煙支援内容の比較 n=101

※複数回答



禁煙達成状況別の禁煙の動機内容の比較 (n=411)



1) Pearsonの χ^2 検定 2) Fisherの正確検定

*, $p < 0.05$, **, $p < 0.01$, ***, $p < 0.001$

禁煙達成への関連要因 (n=394)

	オッズ比	95%信頼区間		p
		下側	上側	
年齢				
50代以上	1.58	1.12	2.25	**
20-40代	1.00	reference		
施設内の全面禁煙について				
積極的に受け入れる	7.59	5.32	11.35	***
仕方ないが受け入れる・ 受け入れがたい	1.00	reference		
一日の喫煙本数				
20本以下	0.42	0.18	0.95	*
21本以上	1.00	reference		
禁煙挑戦回数				
1回・3回以上	2.31	1.54	3.58	***
2回	1.00	reference		
禁煙の動機- 自分の健康のため				
はい	4.02	1.96	8.66	***
いいえ	1.00	reference		
禁煙の動機- 身近な人の禁煙				
はい	4.04	1.25	13.40	*
いいえ	1.00	reference		
禁煙の動機- 周囲への気遣い				
はい	0.07	0.02	0.25	***
いいえ	1.00	reference		

ロジスティック回帰分析(ステップワイズ法) *;P<0.05, **;p<0.01, ***;p<0.001

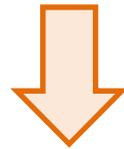
禁煙達成状況と禁煙支援内容との関連

禁煙達成者と非達成者の禁煙支援利用者は少なかった
禁煙達成状況と禁煙支援内容との関連はなかった

従業員の87%が禁煙は喫煙者本人の責任であると考えている

(Halpern et al.,2010)

喫煙者は、禁煙支援を利用するという意識が低いと考える
禁煙支援が全体に浸透していないことも推測できる

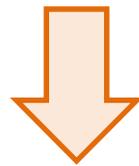


企業は、禁煙支援についての情報提供や支援を受ける必要性を伝え、喫煙者が禁煙支援を利用しやすい環境を整えていくことが必要

企業と従業員の禁煙支援への意識

企業が禁煙支援の推進のために最も必要なものは、**社員の声**
企業の禁煙支援に「満足・やや満足」と回答した者は**44.9%**
今後の禁煙支援に希望ありと回答した者は**63.4%**

従業員の声が企業に届いていないことが考えられる
企業の禁煙支援内容と、従業員の希望内容との不一致が、
満足度の低さに影響していると考え



企業は、従業員の声を聞く機会を作り、ニーズを把握し、それを禁煙支援に反映させていくことが必要

結論

○企業

- 1) 企業237施設中、禁煙支援実施率は20.6%
企業規模が大きい程、禁煙支援を実施している割合が有意に高かった
業種間での差はみられなかった
- 2) 禁煙支援の実施の関連要因は、企業規模、常勤保健師・看護師の有無、喫煙対策の担当部署の指定の有無、安全衛生委員会における喫煙対策の議題の有無だった

結論

○従業員

- 1) 禁煙達成者・非達成者のうち、禁煙支援利用者は25.3%、禁煙達成状況と禁煙支援内容との関連はみられなかった
- 2) 禁煙達成の関連要因は、年齢、施設内の全面禁煙、一日の喫煙本数、禁煙への挑戦回数、禁煙の動機内容だった
- 3) 禁煙支援に「満足・やや満足」の回答より、「禁煙支援に希望あり」の方が多かった、企業は従業員のニーズを把握し、それを禁煙支援に反映させることが必要である